

つくば市記者会 御中

発信日：令和元年（2019年）10月13日（日）

発信元：つくば市 市長公室広報戦略課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

令和元年台風19号によるつくば市内の被害状況



台風19号によるつくば市が把握しているつくば市内の被害状況は以下の通りです。

（10月13日14時時点）

- 死者・負傷者：なし
 - 住家等被害の状況：床下浸水2件（下田中地内）
 - 市内流域の河川における被害状況：
 - ・桜川浸水想定区域
冠水…大貫、田中、小田、栗原
一部浸水…北太田
 - つくば市民の避難者数（最大）：839人
 - 公共施設の被害状況
 - ・倒木 79箇所（市道、公園等）
 - ・冠水 13箇所（県・市道）
 - ・雨漏り 4箇所
 - ・雨どい破損 1箇所
 - ・窓ガラス破損 1箇所
 - ・校舎等屋根破損 2箇所
 - ・街灯柱破損 1箇所
 - ・下水道被害 3箇所
 - ・その他の主な被害
カーブミラー倒壊、バス車庫シャッター破損、水路転落防止柵の倒壊など
- ※民間施設については、調査中。

五十嵐つくば市長コメント

台風19号の被害に遭われた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

今回の台風19号は、非常に大型で甚大な被害が予想されていたことから、つくば市としても、関係機関の協力のもと、万全の態勢で対応に臨みました。10月8日には全庁で対策を開始し、「台風19号に伴う対策連絡会議」を一早く行い、台風が到来した12日には早期の段階で「つくば市災害対策本部」を設置し、全庁的に24時間体制で対応に当たりました。

今回、水戸地方気象台の発表を受け、レベル4（避難勧告及び避難指示）を発令し、12の避難所を開設、避難者の受け入れを行いました。これまでのところ、1人の死者・負傷者を出すことなく対応を進めることができました。市内で発生した被害については、早急に対応を行っていきます。

また、鬼怒川の氾濫に備え、隣の常総市からの避難者（最大261人）も受け入れし、支援・協力しました。